

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月17日

協議会名: 塩竈～朴島航路確保維持協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>塩竈市 塩竈～朴島航路</p>	<p>①「しおじ」が令和7年10月に定期検査を迎えるため、今後の船舶体制の方向性を検討する。</p> <p>②島民の生活実態や需要に合わせた運航ダイヤを検討する。</p> <p>③小中学校等の校外学習や遠足先として受入体制の充実を図り、交流人口の拡大に取り組む。また、島内で開催される各種イベントや地域おこし協力隊、島内事業者と連携し、浦戸諸島の魅力を広く発信することで交流人口の確保に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信の強化により、交流人口の拡大に取り組む。</p> <p>④船員による日常メンテナンスを重視し、不良個所の早期発見に努め、修繕費等の削減を図る。</p> <p>⑤運賃改定について検討を行う。</p> <p>⑥朴島栈橋にバリアフリータラップを整備する。</p>	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語版の潮風トレイル・島歩きMAP作成やホームページ等の積極的活用により、航路利用者を増やす取組を実施したことを評価します。 ・運航体制等について、島民及び運航利用者からヒアリングを行い次期塩竈市交通事業会計経営健全化計画への反映を図る等、今後も島民の生活実態と需要を考慮した運航体制を検討していくことに期待します。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦戸諸島島民との懇談会やアンケート調査の結果を反映させた第3期塩竈市交通事業会計経営健全化計画を策定した。 ・運航体制については、第3期塩竈市交通事業会計経営健全化計画に基づき島民の需要を考慮したダイヤ改正まで手続きを進めた。 	<p>左記の「②事業概要」に記載した取り組みは、以下のとおり適切に実施した。</p> <p>①、②、⑤第3期塩竈市交通事業会計経営健全化計画を策定し、島民懇談会やアンケート調査結果から島民意見を反映させた運航体制やダイヤ改正までの手続きまで進めた。</p> <p>③校外学習支援事業として、小中学校の校外学習を継続的に受け入れており、利用者は昨年度と比べ約200名多くなっている。また、島内イベント等を島内事業者等と連携し、SNSやHPを活用して情報発信を行った。</p> <p>④適切に実施した。</p> <p>⑥朴島岸壁にバリアフリータラップを整備し供用を開始した。</p>	<p>【年間利用者数】 目標 160,710人 実績 115,877人 評価: C</p> <p>【達成状況】 繁忙期となるゴールデンウィークや海水浴場の開設期間に、島内や市営汽船においてイベントを開催する等、航路利用者の回復に努めたが、新型コロナウイルス感染症により減少した観光客の回復遅れや、連日の猛暑・天候条件の影響により利用者は前年度比9,903人減少した。</p> <p>達成率 72.1% (△ 44,833人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・航路の利用促進につながる島民人口の増加について、浦戸諸島への定住促進策の一つとして塩竈市が推進する「地域おこし協力隊」制度により、多くの方が定住出来るような支援策を引き続き検討する。 ・また、校外学習支援事業の継続的な実施や島での体験メニューを増やすなど新たなイベントづくりにも取り組む。 ・SNS等での積極的な情報発信の他、国内で増加している訪日外国人への対応については、パンフレットの作成やホームページでPRを行っていくとともに、運航状況のデジタル化や運賃のキャッシュレス決済の導入等DX化を進めていく。 ・第3期塩竈市交通事業会計経営健全化計画に基づき、運賃改定に向けて島民及び航路利用者とのヒアリングを行いながら、適切な運賃体系について検討していく。
【二次評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・目標とする年間航路利用者数の達成には至らなかったが、新型コロナ禍以降実施している校外学習支援事業として受け入れている小中学校の航路利用者が増加している等、航路利用者増加に向けた取組を継続していることを評価します。 ・運航状況のデジタル化やキャッシュレス決済の導入等のDX化に取り組んでいくことに期待します。 				